京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●韓國美術と關野博士

韓國古建築物及美術品等の調査中なる關野博士の談に依れば二十四日は景福宮社稷壇及其附近其翌日は曾て外人の内覽を許さざりし大廟及其他の二三箇所を巡覽の筈なるが今後は知らず從來見たる中にて最も立派と思ひしは木造建築にては京城南大門及東城南門の二なり石造としてはパコタ公園中の大理石塔及慶州佛國寺の二塔とす滯在は京城を中心として九日迄其間水城及其附近を巡視し夫れより旅行して平壤地方に至る筈なり先日新聞に掲載せられし軍扇は豐公征韓の戰利品として帝室寶庫に藏せらるゝものと同樣にして形狀は圓形六寸許の金にして輪廓は金覆輪、地は絹張にて李を刺繍し二十有餘の眞珠を鏤め誠に美々しきものなるが之を從來秘庫に秘め置かれし如く記るされしは全く虛說にして這は何等かの訛傳に依るものならん云々

●皇室債務第一回訴訟

豫て度支部臨時財產整理局に於て審査したる皇室債務の處分に對し異議を申立たる者の第一回訴訟は來る廿七日午前九時より京城控訴院に於て開會の筈なるが度支部よりは菅田書記官委員として參加し岡田、辰市の兩辯護士は被告側の訴訟代理人として出廷の筈なり

●政府工事入札法規定

韓國の會計法改正案は既報の如く度支部の同委員會に於て審査中なるが改正の要點は日本の會計法に倣ひ最も進步せるものゝ由にて就中政府工事の競爭入札法は從來の一般競爭入札に弊害あるを認め或る場合には指命入札をも爲し得ることの規定を設くる筈なり

●中旬の仁川外國貿易

仁川港に於ける本月中旬の外國貿易總額は五十四万七千五百三十二圓にして之れを前年同期に比較する時は二萬〇七百二十三圓の減退を呈せり尙ほ試に輸出入の内譯を示さんに輸出額は十七万三千〇八十五圓にして輸入額は三十七万四千五百〇七圓差引二十萬一千四百二十二圓の輸入超過を現出す今輸入品の重なるものを揭ぐれば生金巾及シーチングの六萬二千九百圓及絹布の五萬五千二百七十圓晒金巾の五萬六百八十九圓之れに次ぐに石炭の二萬八千百八十圓等にして輸出品の重なるものは大豆及び小豆の十万〇百三圓牛皮の五千六百五十九圓大豆及小豆の三千八百八十三圓等なりと云ふ

●齋藤大佐の談片

統監府間島派出所長齋藤大佐は同所撤退に關する打合の爲め上府したり其談によれば同地駐在は滿二箇年三ケ月にして此間に於ける經過は既に世人の知る處なれば今茲に喋々を要せざるべし現に角同地領土權の既に確定したる今日彼是評論するは死兒の齡を算するの類たるを以て予は何等の意見も語る能はず唯だ赴任當時は在留韓人合計七萬六千餘人に過ぎざりしに昨今年に亘り俄かに激增して八萬四千餘人となり其他保護政治も漸次其緒に就き隨て韓人も亦吾が德化に浴し從來の繼子扱を脫却し得たる事なれば非常に感謝の誠を表するに至り然るに今回再び淸國の手に委せらるゝ事なれば彼等の内には往々にして又淸國暴政の下に立つに至るべしとて尠からぬ杞憂を抱き居るが如し元來淸國の政治は法に據らずして人に在れば彼等の杞憂も無理ならざるなり是を思へば何さなく惻隱の念に禁へず云々

●山林協會の經營

大韓山林協會の經營に係る全州阜安郡邊分林植樹事業の爲今回群山本町榎虎吉方に林業假事務所を置き其事務を榎氏に臨時委托せるを以て氏は打合せの爲上京せしが數日前歸群せり



第六十一席　桃川燕玉演

彥「猪武者とはちと失禮な一言、懇意は懇意、言葉の利きやうは少し嗜んで貰ひたい　關「匹夫の勇、猪武者、全くそれに相違ない、其許などは盲目蛇物に懼かず、相手が容易もない者、だから已位の者はないと自慢をして居さつしやる、天下の豪傑に出會つた日には一堪りもなく、其許などは忽ち首は宙へ飛んでしまふ　彥「是はどうも以の外の一言、拙者がれ手前へ斬つて掛る、美事に拂はつしやるか　關「拂ふにも拂はぬにも、其許などが何をしたからといつて驚く關龍ではない、斬れるものなら斬つて見さつしやい、其許などを相手に扇一本要るものではない、小指の先で三番叟に使つて御覽に入れる」言ふと彥九郎と云ふ人は一体短氣で、怒るまい事ではございませぬ「不禮極つた關龍の一言、小指の先で三番叟に使ふ、聽捨にならぬ其暴言、宜し、受けられるなら受けて見ろ」と傍にございました長光の大劔、柄へ手が掛かると拔手も見せず躍り掛つて眞向から斬下した、門人一同呀と驚いた、素破こそ大事出來をしたと手に汗握つた時に、斬込む刀と共に何時か關龍体を轉じ、矢庭に手許に飛込んで發矢と打つた手刀に流石の彥九郎一刀ボロリ打落され、無念と脇差の柄に手を掛ける間に關龍の手は早くも高山の手首に掛ると、流石の大の男を引擔いだが早いか道場の眞正中に地響を打たして投付けた、起上らうとする所を飛蒐つて忽ち扇子を取つて襟首の邊りをピッタリ押へ　關「何と高山、恐入つたかどうだ、さア此扇で押へた、之を外して御身が頭が上るものなら上げて見さつしやい、どうだや、上本の扇で貴公の襟首を押へた、是が外さるゝかどうだ高山」キュッと押へてしまつた、流石の高山彥九郎眞赤になつて怒つたがいかない　彥「ヤア恐入つた、實今日は恐入つた　關「參つたか、參つたらば是まで、それだから言はぬ事ではない、門人共だから其許に恐入る、少しく出來る者に出會へば是だ、斯く言ふ關龍などは天下の名人と言はるゝ程でない、拙者の上にどの位偉へる者があるか知れぬ、未熟の拙者でさへ此れだ、吾等より上手の者に出會つて見さつしやい、其許幾つ首の掛替へがあつたつて追付くものぢやアない、以來もある事だから餘り大言を揚はず、劍術は一通り嗜んで置かつしやい、失禮ながら拙者御指南を致さう」額へ流れる汗を拭ひながら、彥九郎初めて降參をした　彥「成程どうも其道に入つて苦きぬければいかぬもの、どうも關龍先生、其許は實にねらい、何時拙者の手首を打つたか目にも止らぬ早業イヤ、どうも降參を致した　關「高山、貴公は一体が勇氣非常に溢れて居る、立會ふ大概の者は貴公の氣に吞まれてしまふ、御身の眼光は人を射る、一つ睨まれると大概の者は、ハッと驚く、一つは聲に驚いて疵む所を其許は飛込んで打つ、已れ程の者はないと思はつしやるは大きな了簡違ひ、さア稽古をさつしやい　彥「どうも恐入つた、然らば何分其許の御教を蒙る」と流石の彥九郎も降參をして、是から關龍に就て劍術を學びました、尤も斯う云ふ人だから進みも早うございます、僅かの中に滅切り腕前が上達を致しました、鬼に金棒、英氣人に勝れて居る所へ持つていつて劍術の業に達しましたから萬夫不當の勇士とも謂つべき樣な人に成ましたと或一日彥九郎が慌しく關龍の許に參りまして　彥「さて江上先生……

………嚴「どうなすつた　彥「大變が出來をした、今日淺草邊へ參り故鄉の者に出會つた、承つた所が今度上州に網運上取立の一件に就て一揆が起つて、イヤどうも國表は非常な大騷動、承つて見れば片時も猶豫がならぬ、早速故鄉へ立歸つて、親戚足弱の者、如何なる難儀を致すまいものでもございませぬから給賓んければ相成らぬ、此處で御別れを致す　關「それは容易ならぬ事、拙者も鳥渡其話を聞いた、大分上州には騷動が起つたと云ふが、併し其許在所へ御歸りに相成つて、どう云ふ又間違ひがないとも限らぬ、拙者も同道しやう　彥「イヤ思召は忝けないが御斷りを致す、先達て御預け置いた品を拙者頂戴致して、直ぐから出立を致す、決して御同行は御無用に願ひたい　關「然らば強いて御同道は致さぬ、兎に角御飯時だ、まア仕度をして行かつしやい……コレヨ酒を持つて參れ……直ぐ酒を取寄せ　嚴「さア〳〵まア兎に角一盃飲んで勇氣を養つて行かつしやるが宜い、充分仕度をして行かつしやい、就て萬一の事があつてはならんから、餞別として之を高山貴公へ差上げる」黑絲の腹卷、並に鉢金入りの鉢卷　關「之を其許へ差上げる　彥「千萬忝けない然らば是は遠慮なく頂戴致して風呂敷にして之を引背負つて、充分に食事をして宅を出ましたのはもうこれ日の暮でございました。



京城新報

北韓の自由開放

鴨綠江附近には多くの清國密漁船出沒し、而かも此等の密漁船によりて密輸入さるゝ貨物尠少ならずとは彼地方より來れる人より屢々聞く所也、然れども輓近稅關の嚴重なる爲に從來に比すれば密漁船も密輸入品も減じたりとの說も亦屢々聞く所也、惟ふに是れ何れも事實にして清國人の密漁密輸入は今尚行はれつゝあるには相違なきも、漸次減少しつゝあるは事實ならむ、而して此等の密漁密輸入の減少は鴨綠江岸乃ち北韓の經濟に如何なる影響を及ぼしつゝある乎、之を取締るの嚴なるが爲に北韓の開發及其經濟に利する所あるか、こは大に矚目研究すべき問題ならむ。

余輩の聞知する所に依れば鴨綠江沿岸に於ける清國人の密輸入船の大に減じたる爲に此地方の韓人は漸次疲弊しつゝありと云ふ密漁を禁じ密輸入を禁じたる爲に此地方の韓人が疲弊するに至るとは、如何にも奇異なる現象にして事實有得可らざるが如くなれども、具さに彼の地方の事情を知るものには決して首肯せられざるに非ず、從來清境に接近せる北韓の地は常に清國との自由貿易行はれ、彼我相通じて需用供給は圓滿に行はれつゝありし也、此地方に於ける農產物及其他の物產は概して清商人の雜貨と交換せられ、韓人の採獲したる鱗族及海產物は其密漁船によりて買收せらる、斯の如くにして韓人は坐ながらにして之が販路を得且つ必要品を購ふを得たる也、是を以て平壤以北は馬蹄銀若しくは清商の手より取る所の圜銀は殆ど通貨の如き觀ありし也然るに輓近密漁密輸入船の痛く減少せる爲に鴨綠江岸の韓人は甚だ不便を感ずるのみならず、其經濟狀態は著しく衰沈し來れり從て通貨の觀ありし清國銀は殆ど跡を絕つに至れり、畢竟之れ自由港を閉鎖したると同一の結果を見るに至りし也、果して事實に於て斯る傾向ありとすれば韓國政府たるもの須く此問題に着意する所なかる可らず余輩の見る所を以てすれば北韓開拓進步の爲には或期間內は清國との貿易上自由開放をなすの可なるを思ふ、既に韓國政府は清津港を以て自由港たらしむるに決す、此際更に進で清國領に近接する北韓地方の自由開放をなすは其開拓上に最も利あるべしと信ず、若し夫れ從來の如く清韓間に自由貿易の行はるゝに至らば平壤以北の經濟狀態は必ず良結果を見るに至るべきを信ず、他日吉會鐵道布設せられて吉林渾春との交通頻繁となり清韓國境經濟の區劃線たる鴨綠江にして撤去せられ自由に彼我の物產交換せらるゝに至らば相互の利益は決して尠少ならざるべし、此自由開放は啻に兩國を利するのみならず、帝國の滿韓經營にも亦便宜なりと云ふべし、余輩は當局者が此際或期間內北韓の自由開放をなすの擧あらむことを望むもの也。

東京電報

▲農商務省の決意　農商務省は當買停止中の東京米穀取引所に對し二十五日中に增證據金の納付を爲すべし若し遲延する時は一步も假借せざるに決定せり（二十六日）

▲貯金一億祝賀　全國郵便貯金は既に一億圓に達したるを以て遞信省は四十三年五月を期し紀念會を擧行するに決定す（同上）

▲慶應撰手又勝つ　慶應對ウイスコンシン大學野球仕合本日再び開催せられ又一對三にて慶應撰手の勝に歸せり（同上）

▲新事業と豫算財源　來年度新事業財源は四十一年度剩餘金及び同年度不當支出に屬する剩餘金六千萬圓の內四十三、四年度財政計畫不足補充額三千萬圓を控除し其殘額三千萬圓に陸海軍糧秣代下落に伴ふ豫算減並に貿易關係より生ずる交付金減額五百萬圓を加へ約三千五百萬圓を得其中より四十二、三年度の追加豫算財源を控除したる殘額を充つる筈（同上）

▲大詐欺師の捕縛　大仕掛の詐欺を[illegible]水產會社に對し[illegible]んとして發覺せし芝區岡野千野（[illegible]）京橋區小野秀文（四五）の兩名捕縛せられたり（同上）

▲豫算查定と閣議　四十三年度豫算查定は本月中に終了し十月第一回の閣議に付し確定す（同上）

▲伊勢神宮遷宮式　十月二日擧行すべき神宮遷宮式には例により神寶玉體外五十餘種を御進輦成る筈にて岩倉掌典之を奉持し明二十七日伊勢山田に急行すべし（同上）

▲英國大使の歸期　東京駐劄英國大使は明廿七日午後敦賀着港の旨來電あり（同上）

▲議員節制法律案　議員の節制に關する法律案制定の爲め林田衆議院書記官長の手許にて審査中の處大体既に脫稿したれば來る廿六議會に提出されん（同上）

▲道路協議會組織　內務省大藏省陸軍省遞信省農商務省の五省にては道路協議會を組織し二十八日開會して道路法を研究する由（同上）

▲排貨熱稍々終熄　南清及び北滿一帶に於けるボイコットは稍々薄らぎたる旨其筋へ公電ありたり（同上）

▲韓銀株の割當期　韓國銀行株は二十九日按分比例にて割當てらるべき株數決定と同時に端數株も決し直ちに端數株一口に付き抽籤を行ひ來月三四日頃通知し夫れより二週間以內に株割當をなすべし（二十七日）

▲韓銀總會の期日　韓國銀行は十月廿五日頃株主總會を開く筈なり

▲曾禰統監交迭說　曾禰統監の健康は到底劇務に耐へざるは元老閣員間に既に認められ後任撰定中なり而して寺內現陸相長谷川大將呼聲最も高かりしも軍人なればとて昨今子爵伊東巳代治氏を擬するものありて勢力漸次高まり來れり尚は此更迭說は某閣員も之を漏らし居れば事實として確信するを得べし（廿七日）

▲韓銀株の募入期　韓國銀行株式申込齊調査は其後大に進行し二十九日頃募入を確定し十月三日頃より證據金を返附すべしと（同上）

▲幸田露伴辭職す　京都大學講師幸田露伴氏は遂に辭職せり（同上）

大連電報

▲宮府虎疫指定地　宮內省は韓國をコレラ有病地と指定して告示せり（同上）

▲電車開通祝賀會　二十五日より無事開通したる大連電車第一期線の開通祝賀會を十月十六七兩日間施行する筈（二十六日）

北京電報

▲京張鐵道の開業　北京張家口間の鐵道は昨二十五日より開業せり（廿六日）

▲韓國內の清銀行　支那政府は近く京城及び釜山の兩地に大清銀行支店を設置し韓國金融機關の掌握を圖るべしと（二十七日）

ルーター電報

▲軍用飛行船椿事　佛蘭西軍用空中飛行船レパブリック號はモーリング附近に於て飛行中破裂し五百呎の高處より墜落して四名の即死者を出せり（二十六日東京經由）

▲佛南の災變頻出　地震に次て南部佛蘭西に風水害あり農作物の被害甚しく葡萄の收穫非常に減少し死者亦尠からず（同上）

紐育電報

▲ホドソンの壯觀　二十五日擧行されたるホドソン三百年祝典には各國軍艦の參列するもの四十五萬噸に達し非常に盛況を極たり（廿七日東京經由）

雜報

●大內氏の視察談

憲政本黨非改革派政務調查員代議士大內暢三氏を其客舍に訪ひ叩くに韓國政況視察の結果如何を以てす、氏襟を正ふして語つて曰く予は當地に滯留して尠からぬ感慨を催ふしたる事あり則ち他に非ず韓國各般の施設經營悉く官吏方館の下に司配されつゝある器現象是なり、之を統監府に見るも又韓政府に徵するも或は又民團東拓會社等其他各種の階級に證するも皆此通弊を目擊し殆んど病膏肓に入れるの感あり、念ふに是れ前統監伊藤公の虛榮政策に馴致せられたるものにして之を打破せずんば到底吾が對韓國是を完全に遂行し得べからずと探知せり元來社會及國家的組織の頗る單純なる韓國を統治するに綾羅錦繡の緻を極めたる如き行政制度を以てするは抑も誤れるの甚しきものなり譬へば漁船に搭乘するに船の動搖浮沈に投合すれば何等船暈の苦痛なかるべきに多くの乘客は漫りに之に逆行反視する爲め彼が如く懊惱する所以なりとす、即ち韓國行政機關の現狀は正さに此比喩の類なるなからんや、故に予は現行官制に對し更に大に考究を遂げ必ず議會の一問題たらしめんと期すべし且つ統監府員等の云爲する處を見るに彼等は自巳を以て韓國の指導及社會改良の機關の如く誤解せるが如し是れ何等潛越の極みぞや、蓋し行政官廳なるものは社會又は國家的活動事務を處理する機關にして指導改良の如き任務は自ら別種のものに屬す、則ち韓國民を指導し韓國の社會を改良するが如きは宜しく吾が國民の強健なる社會的勢力を移植して以て此鑄型に陶冶せしめざるべからず然るに統監府の施爲する處を見るに昔時の韓政府が其被治民に對する如く吾が國民の發展を壓迫しつゝあり之が爲に移住民は常に怨嗟の聲を絕たず韓國民に對しては毫も指導同化の實を擧ぐる能はざるにあらずや要するに現行政機關の複雜と吾が國民の勢力發展に對する壓とは現統監政治の一大通弊にして若し他に批摘すべき點あらば悉く是れ禍根を茲に含むものなり而して足一たび韓國を踏みたるものは何人も之を發見し予と同感を禁せざるを得ざるべし故に予は來る二十六議會に於ては大に韓國問題を絕叫して現內閣を督勵し對韓問題に關する言質を保留し置かんと欲す然らざれば常に當局者の詭辨に弄せられ國家の將來を誤るの虞れあればなり云々（電報通信）

●防疫本部の組織

虎疫豫防の爲め防疫本部を設け左の通り役員の選任を爲したり

防疫本部長　內部次官　岡
同　副長　藤田軍醫正
同　評議員　菊地大韓醫院長、松井警務局長、澤田地方局長、榊原憲兵隊長、北村軍醫部長、劉士木局長、廉衛生局長、張漢城府尹、鈴木司稅局長、熊谷京城民長、大久保龍山民長
同　執行委員長　若林警視總監
同　委員　警視廳警視　警部　超
同　監視委員　永田警視、齋藤警視、武
書記官、高橋副理事官、奧貫技師、
石事務官、新菜總譯官

●藤田軍醫長の防疫案

內部防疫本部に於け[illegible]は本部に井戶檢查掛を設け各警察署管內を巡回せしめ警察官と協議して不良井水の閉鎖をなさしむる事にして昨來既に着手又第四提案は當分の內總ての死体には警察官の證明を携へ通行せしむる之に反する者は城內外の通行を禁ずると及洗ひたる野菜不熟果實生菜荷不良獸肉腐敗の飲食物は城內の出入を禁ず第五案は漢城內外に於て下水及び溪流にて食器及び食料品を洗ふ事を禁ずると實況調査の上衣服の洗濯場を指定し指定地以外の場所に於ける洗濯を禁ずることゝ以上何れも一昨日來實施されつゝあり

●仁川經濟研究會模樣

仁川經濟研究會は既報の如く去る二十五日午後八時より民役所樓上に於て開會したるが出席會員三十名に及び先づ開會に當り本會を公開すべきものなるやに就て疑議したる結果秘密會議となし其內差支なきものは新聞紙上を以て研究の一斑を公表することゝ決し其より將來に於て船車の連絡輸送完備の曉は當仁川港は如何なる影響を受くべきやに就き議論沸騰せしも結局這は宿題として研究するに決し終りに信夫理事官の名古屋及び三池兩築港に關する視察談あり散會せしは十一時頃なりしと云ふ

●蔬菜果物の取締心得

二十六日桐原南部署長は蔬菜果物取締に關し左の如く通達せり

當分の內蔬菜は總て水にて洗ひたるもの又は生葡萄を販賣するものは嚴禁す就ては左の通勵行方心得べし、但未熟の果實又は不良の肉類又は腐敗に傾きたる飲食物の取締方を勵行すべき事は從前の通り

一、各受持區內日清人にして蔬菜を栽培又は販賣するもの又は生葡萄を販賣するものは命令に違反せざる樣無漏注意を與ふべきこと
二、市場には午前午後各二回づゝ巡視し取締ること
三、日韓清人にして途中に於て命令に違反したるものあるを認めたる時は現品を携帶警察署へ同行すべし
四、違反者に對しては一回に限り買上げ爾後は廢棄せしむるものなり

●蔬菜取締法と當業者

蔬菜及び果物取締法は二十五日付警視廳令を以て發布せられ其結果水にて洗ひたるものゝ販賣を禁止したるが之れに就き京城青物市場組合にては野菜は水にて洗ひたるよりは寧ろ泥付きの方危險にして韓人等は畑にある時に於て野菜の色を良くする爲め日々汚水を酌み掛け且つ市內より搬出せる人糞等を掛けるより却つて洗はざる方危險なるに當局者が是等の事情を究めざるは迂遠なりとて同組合代表者は其筋に向つて事情を開陳すると同時に交通頻繁なる南大門邊で之を販賣するは頗る危險なることをも具陳せりとされば當局者も大に省慮する處ありたりと云へば當分閑散なる明治町の同市場に限定するに至るべしと云ふものあり

●臨時民團會議の開催

一昨二十六日午後七時より臨時防疫費支出の件に關して京城居留民會を開きたるが出席者廿名[illegible]病氣缺席に付會我議員假議長となり再昨日の委員會修正案通り臨時防疫費六千九百二十圓と滿場一致にて可決せり其費途方法は臨時檢疫醫及檢疫員の俸給、豫防消毒に使役する人夫、青坡病院假病舍二棟の建築等なりと

●地方金融の活氣

第一銀行韓國支店に於ける兌換券發行高本日の現在によれば一千百三十五萬六千三百圓に達し之を客月當時に比すれば約二百萬圓を增發したり而して斯く增加せるは秋季商況の活躍せる爲めにして資金の需要口は主もに大豆の仕入に在りて昨今地方出廻品の激增せるに依るも明かなり之が爲めに近頃韓內地は頓みに景氣付き地方農民は積日の愁眉を開きつゝあるが如し元來韓國の不景氣は物資の缺乏を憂へるよりは金融の逼迫に起因するものなれば此結果地方の購買力を增進し遠からず京城商況に至大の好影響を誘致するに至るべし且つ大豆の出廻了はれば新米時期に入るを以て現在兌換券發行高は更に增發を促がされ韓銀引繼までには一千二百萬圓以上に昇るならんと

●家賃引下の運動

目下世上一般に不景氣の風吹き荒み何れも生活難を訴ふるより諸物價の下落甚しきに拘らず家賃のみは依然として引下られず借家人は其の家賃の爲めに利益の大部分を捧げざるべからざるより一層の不景氣を增すのみにて他の物價と權衡を得ざるを以て此の際家賃の引下を請求するは至當の要求なるべしとて流石は法律屋の擒蓋揃ひし本町一丁目理事廳前三好和三郎氏貸家住の連中は此の程二割方引下の交渉を爲せしに各月二圓づゝの引下を爲すべく回答せしも借家人はこれに滿足せず是非共二割方の引下を爲さしめんと再び交渉を試みつゝあるよしなるが獨り此の方面に限らず家賃の低減は一般に免れざるべしと云ふ

●醫師拂底と軍醫

虎疫益々猖獗を極むると共に醫師の拂底を來したるに依り其筋にては藤田軍醫監に之れが雇入方等に就き協議を懸けたる處幸に同氏の快諾を得氏の推薦に係る醫學士なる某軍醫は近々監督醫として青坡病院に派遣さるべしと云ふ

●愛媛觀光團歸國

愛媛觀光團の一行は難に客死したる大野熊太郎氏の遺骨を擁し廿六日午前九時發列車にて歸國したり

●山根代議士講話

入京中の代議士山根正次氏は今二十七日午後一時より京城ホテルに於て衛生に關する講話を爲したり

●大內代議士出發

代議士大內暢三氏は一昨二十六日仁川に下り昨廿七日午後入京の上直ちに京釜線列車にて釜山を經木浦に歸り來る十一月初旬東京に赴く筈なり

●大橋次郞氏出張

赤十字韓國本部主幹大橋次郞氏は木浦赤十字婦人會支部總會出張に兼ね光州群山全州各支部へ昨日出張す

●木部領事の赴任

安東縣領事に任ぜられたる領事木部守一氏は赴任の途廿六日入京廿七日午前九時發京釜線列車にて赴任す

●警官の臨時採用

防疫の爲め其筋に於ては臨時に巡查五十名及び巡視五十名を採用し一昨日より夫々役務に服せしめたる由

●齋藤大佐の出發

入京中なりし間島派出所長齋藤大佐は廿六日退京釜山へ向へり

●英國滊船の拔錨

仁川に碇泊中の英國商船グロカーン號は一昨日長崎へ向け拔錨

●檢疫官補の任命

農科大學助手木下米市氏釜山輸出牛檢疫所檢疫官補に任命さる

●山林協會の移轉

大韓山林協會事務所は今般中部なる前陸軍法院跡に移轉したり

公人私人

▲米山喜源太（釜山稅關支署長）廿六日入京
▲河原知亮（黃州區裁判所判事）同上
▲村上貞吉（辯護士）同上天眞樓へ
▲掛札季藏（平壤農工銀行技師）同上山本へ
▲畠山一夫（京城日報記者）廿七日朝歸社

近事片々

▲韓銀　總裁には前日銀總裁山本達雄君任命せらる可との說あるも是或は訛傳ならむ
▲市原　の總裁神戶三島木村の理事は動かす可らざる者の如し總て事實は判明すべし
▲總裁　に市原理事に木村三島ならば充分韓の事情に通ず東拓の如き屁間はなからむ
▲東拓　の屁間は世の普く知る所となる現在の儘押進めば其結果は如何大事覺束なし
▲重役　其器に非ずして事業をなす會社にして發展する者あらず東拓の前途甚だ氣遣し
▲濟州　島に配所の月を眺むる朴泳孝に一万金下賜の說傳はる事實として受取り難し
▲內情　は兎に角罪を得て遠島せられし者に下賜金を與るが如きは常識にては不可解
▲虎病　益々猖獗當局者目の廻る程多忙統監府防疫委員を任命す此際全力を擧て盡せ
▲若し　夫れ何れの所にても患者出れば嚴として交通遮斷をなせ緩急の手加減は非也
▲輕病　なるを以て大消毒をなせば可なり抔と手加減をなすは此際に於て大の禁物也
▲總て　に於て公平に防疫法を勵行すべし輕症なり迚交通遮斷を勵行せず抔は甚不埒
▲韓人　街の大淸潔法勵行は此際軍隊の出動を煩はすが可也とは曾て本紙の論ずる所
▲實行　命令的に勵行せざれば到底埒明かず此際決して韓人の嫌忌を念とする勿れ
▲山縣　派殊に桂侯の跋扈に反撥して薩派大に活動を始むとの說あり果して事實にや
▲例の　高島鞆將軍を御大將として山內萬壽治を金穴として花々しく挑戰すべしと
▲鞆　將軍如何に逸るも山本權兵衛にして起たずんば薩派の勢力は到底桂に及ばず
▲權兵　衛君の虎視眈々は事實なるも彼の慧巧なる今は起たざらむ彼の眼光更に遠大
▲袁世　凱攝政王より呼び迎へられて再び起つ可しとの說あり或は然らむ彼れ野心勃々
▲何と　云ふても淸國では袁世凱は大立物北京の政界此人の辣腕に俟つもの多からむ
▲朝日　の漱石君今滿洲視察中滿洲の地氏

●警備船の到着と豫算
水上警備船十六隻の內內部警務局に屬する
大阪發之れ亦吳[illegible]
向ひ稅關に屬する六[illegible]
[illegible]を裝塡し下の關に
[illegible]二十七八日頃大阪
三十五隻にして之れを項別すれば醫費一千
日より十二月末に至り總額二萬七千七百
圓船舶費一萬一千百二十六圓なりと因みに
水上警備所は木浦、麗水、莆浦の三にして各
京龍間のコレラ病は發生以來六百名に達し
尚は容易に鎮滅すべき模樣なきが官民の極
實に其一原因也と某韓大官は嘆息せり

●米國宣教師逝く
西部皇華坊梨花學堂

●天氣豫報（自廿七日午後至廿八日午後）
北西風晴溫度降ル

……二十六日同港……は二十三日……合併光濟號に曳引されて廻航する筈なり而して警務局に屬する水上警備隊は九月一……

……七百五十九圓旅費五千三百九十五圓雜給及雜費六千八百六十七圓被服及寢具費一千二百十八圓修理費七百五十圓舍宅料六百二十……

●防疫上の諭達

三浦理事官は虎疫流行に付き昨日理事廳諭達第十號を以て左の如く警告せり

一　未熟の果實、腐敗の魚鳥獸肉其の他衛生上危險と認むる飮食物の販賣は明治四十一年十五號統監府警務總監部令第三號虎列剌病豫防規則に於て之を禁止しあるにも不拘惡疫流行の今日尚ほ右等危險なる飮食物を販賣するもの往々有之遺憾とする處なり殊に冷水又は不潔なる水溜等にて洗ひたる蔬菜類、未熟の果實殊に生胡瓜、生柿等は最も危險と認むるに付蔬菜果實等の販賣者は當分右等の品を販賣することを見合はすべし

二　諸興行は勿論其の他の集合等も可成之を見合はすべし

三　不良なる井水は最も危險なるに付防疫本部に於ては當分の間左記十八箇所の共用水栓を買收し之を公衆に開放したるに付成可井水を使用することを見合せ水道水を飮用すべし

共用栓番號	所在地
百六十番	同上
百六十一番	太平町一丁目
百六十六番	南大門通三丁目
百六十七番	同
百六十八番	長谷川町兵營裏
百七十番	北米倉町
百七十一番	南大門通三丁目
百七十二番	同　丁字屋橫町
百七十三番	同所より一丁北
百七十六番	明治町二丁目
百七十七番	同　三丁目憲兵官舍前
百八十二番	赤門通山林局
百八十三番	永樂町水道局官舍入口
百八十七番	黃金町　永樂町、十字街
百八十八番	竹園町
百八十九番	若草町二丁目
百八十九番	同　一丁目
百八十二番	櫻井町
百八十二番	竹園町通

●青年の厭世自殺

▲長かりし廿五年の夢　▲秋菊の花を冥途の土産

仁川某會社に在勤し居たる某（廿七）は昨廿七日朝仁川各國公園に於て前途幸多かるべき春秋を自ら縊りて自殺し居たるが發見せられたり

▲片手に秋菊の花　年の頃は廿四五歲にして身の丈けは五尺一寸を上らざるべく細緋の單物を着し白足袋を穿き頭には鳥打帽を冠り色白く鼻高く一見書生風の好男子が前記公園藤棚に細帶を掛けて見事縊死せるを昨朝午前六時公園守が發見して其筋に屆出しかば係官出張檢視したるに死後既に五時間を經過し居るもの丶如く片手に秋菊の花を確く握り占め居たり

▲失職の結果ならん　所持品としては金四圓四五本とマッチ及び手帳の斷片など

遺書

朝鮮新聞社御中と表書し裏面にはエッチアトルと英書せる遺書を發見したるのみにて姓名住所共に詳ならねば取敢へず民役所に引渡して假埋葬に附したるが其遺書に依れば原因は失戀したる爲めなるが如し

うたかたの水のあはの如しと彙行法師が云ひけん人生は抑も何？

馬鹿に成るは中々骨なり　吾十歲の神童二十歲の凡人三十にして馬鹿人は馬鹿にならんが爲め生れたるなり放浪　嗚呼廿五年の過去の如何に長かりしよ人生の終局の目的は幸福にあり最大幸福は理想の現實にあり、生れたるは死するの始めなり

生を受けたるものは死を免る能はず必竟するに**死は生の目的なり**到着點なりこの到着點を理想とする誰れか不可を唱ふるものぞ僕は此**理想を實現**したるを悅ぶ僕は遂ひに職を失ひたるものなり、活動は人生の生命なり此活動を失ふ即ち人生の生命を失ふなり何故に精神と肉体と異なるか精神を去つて人生なく肉体を捨てゝ人生無し

肉体が塵となるべくんば精神も亦塵となるべし僕は過去も未來も信せず只だ現實のみプラクマチズム也學校がやりたかつた故學校へ入つたのなり米國へ渡航を欲した故渡米したのなり韓國へ來たかつた故韓國へ來たのなり死にたい故死ぬのなり自殺は罪惡なりと人はいふ

何故に罪ぞや

暴飮暴食間食睡眠不足過度の勉强皆な間接の自殺にあらずして何ぞ直接なるが故に罪なるの理何處にかある朝鮮新聞社の某君よ二十六日の晩**三扁で琵琶**を彈じ給ひし君よ

隣の室で**醉つて歌つたのが僕**なるを知り給はゞ何故姓名を名告らざりしかと判りならん、僕は君に感謝す君のお蔭で唄が二ツ三ツ唄ひ得し事を一人では一寸唄へざりしならん何處へ行ても僕は最も**愉快**な人間といはれた**呑氣**な人と云れた苦の無い人といはれた**苦**のない呑氣なりして愉快に僕は愉快に呑氣に苦なく死ぬのである形身に唄を少し殘して置きませう（唄は略す）

●四萬五千圓の持逃げ

▲正金銀行の出張所員　▲金澤旅館の娘の情夫

正金銀行安東縣出張所員百々本太郎（四〇）は本月二十一日百圓金券四万圓五圓銀行券五千圓を拐帶逃走せり同人の特徵は丈五尺三寸位體格肥滿して頭髮薄く痘痕ありて右齒に金の入齒六個ありと尚ほ同人は當地

金澤旅館の娘金澤つるが曾て同地方で左り褄を取り居たる際**醜關係**を結び居たれば或は同旅館に**潛伏**し居るやも知れずと安東縣警察署にては目星を附居り

●交通遮斷中の心得

▲桐原南部署長の訓諭

桐原南部署長は交通遮斷中も尚ほ監視員の眼を忍びて密かに外界と交通するものあるは交通遮斷の如何に病毒撲滅に必要なるかを知悉せざるより出るものとなし下の如き訓諭を發したり

（一）交通遮斷は一家內に虎列剌病一人發生せば忽にして他に傳染する最も恐ろしきものなるが故に其家は早や既に病毒充滿し何時除人を襲ふやも計られざるものと認め命令を以て餘人を保護するため止むなく交通を嚴禁するものにして斯くせば自然病毒蔓延の豫防撲滅の一方法たるものなり（二）交通遮斷期間は消毒施行後五日間にして不自由なるならんも個人の爲め公衆のため下の要項を愼むべし一、家屋の內外を常に淸潔に掃除する事二、身体を淸潔にし飮食を愼む事三、胃越のものを食せざる事四、腐敗に近きものを食せざる事五、不消化物を食せざる事六、生水を飮まざる事七、食物は總て煮たるものゝ外食せざる事八、朝夕洗面の時は勿論食器を洗ふには總て一旦沸したる水を用ゆる事九、腹加減の惡しき時は直に醫師の診斷を受くるの手續をなす事（三）如何に懇意なる親族知人より見舞等に來る事あるも家宅內に引見するが如き不謹愼の事なき樣注意すべし（四）信書の發送は許さゞるも万已むなき事情ありて發信せんとする場合は遮斷見張員に口頭を以て申出で代筆を乞ふべし（五）飮食物に缺乏し不自由なる場合は前同斷見張員に用辨を乞ふべし（六）遮斷の爲めに生計に困難なるものは見張員に申出づべし左すれば取調の上相當救助の方法を取るべし（七）水は日日水道水を無料にて給與するを以て其使用量を見張員に申出づべし

●京城市內の虎疫彙報

▲南部署管內の新患者

山梨縣平民當時京城蓬萊町四丁目日雇稼松山勝次郎（三三）△京都府平民目下住所不定無職竹田竹藏（三八）△本町一丁目日笠猛（三二）△北米倉町大工鬼頭秀太郎（五七）△北海道平民當時明治町三丁目小川今朝吉（四二）及び同人長男眞俊（七）△南部鑄洞泥峴洞金僕植妻姜姓女（三七）△南部履洞白潤鶴（三二）△山口縣平民當時明治町漢城病院內溫品熊彥△明禮坊苧洞李魯元（三七）△山口縣平民當時明治町立石佐吉方人力車々夫淸水政市（三三）△誠明坊山林洞日雇稼崔益煥（四五）△石井洞金浴鎬（四三）△薰南坊履洞徐用田（十七）△薰陶坊履洞金姓女（四二）△薰陶坊大山林姜順女（四七）の十五名にして漸次終熄に近けるもの丶如く從つて其の病勢も輕微なりとは何よりなり

●仁川の虎疫は鎭滅か

▲新患者僅かに五名

仁川に於ける虎疫は漸次下火となり一昨日來の新患者は五名にて何れも韓人のみ也と云ふ

●清婦人に見惚る

原籍三重縣四日市中町六十九番地平民當時京城明治町一丁目百八十二番戶菓子商諸岡善二郎（三〇）原籍大阪市西區北堀江上通り三丁目七番地平民當時京城南山町二丁目八十三番戶菓子商田村清二郎（二九）の兩人は一昨日午後九時卅分頃南大門通り三丁目小公洞支那人大成義方の內房に支那婦人一名居るを物珍らしく覗き込みて素見せしに大成義は其不都合を怒り直ちに立退を迫りしを大に立腹して三人入亂れて爭鬪眞最中巡邏中の支那巡査李作贊が來り雙方を說諭せしに淸人の癖に生意氣だと李に喰て掛り同巡査の小指に微傷を負せし騷ぎに南部署酒匂部長現場に出張して一同を引致して取調べたる上厚く將來を戒めて釋放せり

●錢なしの女郎買

原籍岡山縣平民當時京城本町六丁目居留無職三村恂太郎（三八）は去る八月十一日龍山桃山遊廓鶴鳴樓に登樓して十二圓二十錢の遊興をなし錢一文も持合せなく結局十二日京城より爲替にて支拂ふ旨誓ふて其後踪跡を晦ませしを樓主の訴へに依り一昨日午後南部署探邏のため前記の場所より拘引せられ目下取調中

●小金拍子の廢業

新町第一の老妓にして而かも無類の阿婆摺れ者なりし皆春樓の小金事埼玉縣平民田中まき（三二）は前借金二百圓を支拂ひ昨日廢業屆を爲したるが近くそんじよそこらで詫住居を爲すと云ふ

●新藥コロリチン

本町四丁目賛化堂古城藥局にて發賣せる同藥は醫學士古城憲治君が一切の下痢症に特效を有せるものなることを證明したるものなりと云ふ時節柄各自一瓶を備ふるの要あるべし一瓶定價廿錢

●珍花種子の分與

東京府下淀橋町角筈二百三十八番地日本女子園藝同好會にては同好者三百名を限り新輸入に係る歐米珍草花十數種を分與すと云ふ希望の向は郵券十錢を添へ同會宛至急申込まるべきなり

吉凶

本町五丁目　三一館判斷

●九月二十八日舊八月十四日六白先負辛卯●やぶる△一白　利潤の事あり多少の投機的及權謀的行爲も效を遂ぐ△二黑　可もなく不可もなし常事は差障なし訴訟爭端は步に利あり△三碧　離間中絕爭論避くべし決算精算上に間違起り易し△四綠　盜難橫領を防ぎ散財保證引受の煩あり伐木冶金の業には吉△五黃　業務官職上に付き疎虞懈怠より失錯あり△六白　受任委託を引受くるなかれ間違又は損害あり△七赤　中傷誣妄に罹るあり爭論紛擾を戒しむ△八白　胸中に蓄積せる不平怒恨外に猛發し易し抑ゆべし△九紫　近親の身上につき損失又は心痛事あり

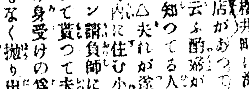
右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接同館の鑑定を請はる可し

……警部一週間一名を配置すべく……警察より兼務すべしと

◎コレラ猖獗の一原因

……烈なる近來韓人の生活に苦しむこと甚しく衛生上恐るべき粗食をなして顧みざること……

宣敎師ミシペン夫人は過日入京梨花學堂に滯在中廿五日虎疫の爲め卒去したり



◀平民文庫▶

▲櫻井町に海山樓と云ふ小料理店があつて其の家にれきみと云ふ酌婦が居た、なんて事は知つてる人だけは知つて居る△夫れが遊び先日の事同じ町內に住む小林と云ふチョコマン請負師に奇麗に借金を拂つて貰つて夫婦になつた△此の身受けの爲めに小林は大枚七圓を惜し氣もなく拋り出したのである△「手に取らで矢張り野にれけ蓮華草」で折角大金を出してサア身受けして同樓に成つて見ると氣に入らぬ點だらけ毎日犬も食はない夫婦喧嘩の花を咲かせて居た△此の二十六日の晩も行つた結局れ定まりの出て行けと云ふ一段となつた△ア、ア、出て行きますとも私も女だ女も女天草女だ小豆飯にキミチに男旱魃のない朝鮮だよと左樣ならとも云はず出て行き相△扨左樣なると惜しいのは身受けの金、一錢銅貨なら七百枚、片手には一寸提げられない程の大金、出て行くなら出て行けだが此の金だけは拂つて行けと男らしい請求△一錢銅貨なら七百枚か知らないが一圓札なら唯た七枚、拂ふとも拂ふ代りには今迄の玉代を寄來せ、月極め丈けに一夜一圓に負けて上げると是れも又女らしい尤も至極の請求なので仲に這入つた近所の者も甚だ恐縮して居るゲナ（係）

●▲僕が辻屋へ買物に行たら店員が昇汞水で手を洗つて品物を出して與れた實に氣持がよかつた時節柄ナカ〳〵衛生に注意して居る何れの商店も辻屋の如くありたきもので（感心生）●▲院長さんは陸軍の軍醫正だけ有つて京仁醫界の模範だと澤山の患者から信用を受けて居る良醫師で有るが惡戯盛りの子供に守も付けずに朝から晩まで啼かして置くのは吾々〇〇患者も閉口する子守の給金などは僅かだから雇つて呉れ給へ第一近所の人も宜しく云はんデ（〇〇患者總代）●▲旭町一同よりの投書の件は本社は直接當局者に警告を與へ置けり、無名子の衛生に關する局部攻擊此れ又當事者に對して直接警告せり（係）●▲虎疫猖獗を極め昨日の花の顏今日北邙の烟と化するもの日に幾十豈悲しからずとせんや誰か又無常の感慨起らざらんや此の時に於て吾人は邪惡の感念全く去りて精神の修養に得る處頗る多きを覺ゆ（はの字）●▲宿醉未だ醒めず加ふるに四方を塞ぐ繁累の爲め悶々の情禁ずる能はずアー何人か之れに慰藉を與ふるものなきか（月曜生）●▲婦人は元より意志の弱いものである其弱い處に付け込んで目的を達すると云ふは實に罪惡の甚だしき者だ、而して其罪惡を敢てしながら恬として恥づるなきは禽獸の類ひである、と斯く觀に來たれば自分は過去の罪惡の爲め悶死するかも知れぬ、併し世の中の人は犯者も非犯者も左程深く意に止めないかも知れん（たの字）●

公告

一金壹百圓也

右ハ內部警務局警部橋本信助殿令夫人今般死去ニ付知人ヨリ寄贈セラレタル香料ノ返禮ニ代ヘ當民團敎育基金ヘ寄附相成候條此段公告ス

一金壹百圓也

右ハ愛媛縣松山市勸業協會發起韓國視察團員銀行業大野熊太郎殿當地旅宿ニ於テ死去相成候處今般同人遺族大野佛藏ヨリ當民團敎育基本金ヘ寄附相成候條此段公告ス

明治四十二年九月二十七日

京城居留民團民長　熊谷賴太郎

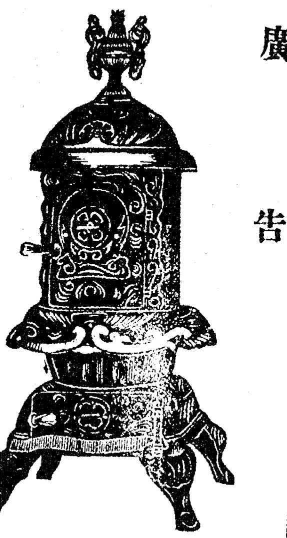
廿六日（華氏）　最高溫度　八一　最低溫度

各種 洗濯石鹼 專門製造販賣 用途
陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋、散髮、諸工業用
京城旭町二丁目（電話九七三番）
朝日石鹼製造所

電話開通
牛豚鷄肉卸小賣
三百貳拾九番
大販賣
本町一丁目三巴酒店前
明治町一丁目
石田精肉店出張所 電千〇四十二番
たからや

廣告

暖爐各種



煙突取付並ニ煙突掃除大勉强
京城本町五丁目角一番戸
電四七一番
馬木勇吉
龍山山下町兵器廠官舍道入口
電三六四番
馬木支店

綿わた ワタ
やすくうります
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋反物類
京城明治町一丁目四ツ角
御問屋
唐川商店
電話二六一番



新荷着廣告
上等 トルコ煙草 金口 キルクロ 百本入、五十本入、廿本入、十本入 各種
上等 ロシア煙草 百本入 廿本入 各種
上等 葉卷煙草 マニラ ハバナ 百本入、五十本入、廿五本入 各種
右今般多數着荷仕候に付特別安價を以て販賣仕候間多少に不拘御購求被下度尚地方よりの御注文は引換郵便にて迅速に御送附可申上候間續々御注文被下度偏に奉希上候
京城本町四丁目角
デーエス パネリス商會
仁川本町四丁目（取次電話九五六番 電略パネリス）
穎原兄弟商會

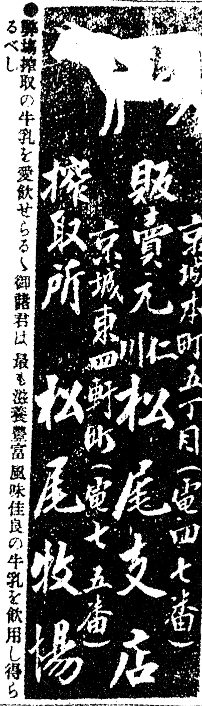
特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
和洋酒、（正）精酎、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候
（電話二五一番）

胃腸消化新劑
澱粉消化 ヂヤスタリン 錠劑十日分（三十粒入一瓶）二十錢 散劑一オンス入（一瓶）一圓二十錢
蛋白脂肪消化 ヂゲスチン 錠劑十日分（三十瓶入一瓶）三十錢 散錠一オンス入（一瓶）一圓四十錢
右は最近內地に於て急激に需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候各地有名なる藥店に於て販賣す
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元
京城光化門通
大島專藏



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島專藏
（電話四百十二番）

洋服毛布
やすくうります
京城赤門橫
原雄吉



●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す牌場夙に此に留意し好良の食料を給す
●牌場搾取の牛乳を愛飮せらるゝ御諸君は最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飮用し得らるべし

明治廿年七月創立●資本金一千萬圓●
東京海上運送火災保險株式會社
京城代辨店 本町四丁目 山口吳服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

食道樂
さかね家
壽町二丁目●電話九四四

些も猥がましき分子を含まず
調理と設備の氣の利いた所を命として賣出申候
高尙にして而かも華美に流れず
紳士淑女を伴つに耻しからぬも極めて質素を旨とし
萬事御手輕を專一といたし候
尤も趣味深き娛樂場として
御心置なく一日の御消遊に適すべく風呂及び娛樂器の備をいたし候

代書
ゴム印彫刻
京城本町一丁目
成巧舘代書部
南部警察署前
成巧舘彫刻部

埃及金口莨 EDP



○嗜莨家諸君○
ニコチンの中毒なく口中に芳香と快感を得んとする諸君は本品を用ひられよ
紳士紳商に向け進物を贈る諸君は優美にして廉價なる本品を用ひられよ
（百本入金七十五錢以上）
直輸入商
京城本町二丁目
日希商會
電話二百廿二番

明治屋
至急稟告
明治屋は昨今惡疫流行に際し左の品々御使用を御勸め申上候
○○ブランデー　○○ウイスキー
○○リキユアー　○○クラレット類
右は御最寄の食料品店にも販賣致居候に付き殊に精良品御撰擇肝要に御座候
本町三丁目
合名會社 明治屋 京城支店
電話貳壹貳番

日本郵船株式會社
仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通
電話三九番
郡回漕店
●釜山長崎門司神戸行 山東丸 月 日午後三時出
●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 十月十四日正午時出
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 月 日午前四時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 九月三十日正午時出
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 十月六日午後出
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ケ月前金卅五錢▲三ケ月前金壹圓▲六ケ月前金貳圓▲一ケ月分郵税拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲特號五號活字十九字詰一行金六十錢
發行兼編輯人 高木久馬
印刷人 磯久神一郎
發行所 京城新報社 京城□□□□□通 電話六六三番

待春日
合のしく

○消閑之淸遊○
毎日午後開會諸君子陸續御臨を賜へ
京城明治町一丁目
京城碁會
（大和湯前〇万隣）
市中之仙境

三一館
京城本町五丁目
易斷觀相敎授 館主 土御門派大陰陽師

折箱製造元
京城明治町一丁目五十番戸
箱信事 鳥山商店

牛乳 花井牧場